

令和5年度
第2期 宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略
評価及び検証
(令和4年度実績)

令和6年3月
宮古市

目 次

I 趣旨		3
II 第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に対する評価		3
1 令和4年度実績評価総括表		4
2 数値目標・重要業績評価指標(KPI)一覧		5
3 基本目標別の評価及び検証		
■ ま ち		8
■ ひ と		20
■ しごと		30

I 趣旨

国は少子高齢化に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、活力ある社会を維持するための方策について、基本理念、国等の責務、計画の策定等を定めた「まち・ひと・しごと創生法」を平成26年に制定しました。

これを受け本市においても「宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「第1期総合戦略」という。)」を平成28年2月に策定し、各施策に取り組んできました。令和2年3月には、宮古市総合計画の基本計画の中に包括する形で第2期総合戦略を策定しました。

総合戦略については、PDCAサイクルの考え方にに基づき検証を行い推進することとしています。宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略市民推進委員の皆様、宮古市議会議員の皆様から意見提言等を頂戴しながら評価及び検証を実施し、必要に応じて事業等の見直しを行うこととしております。

II 第2期宮古市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況に対する評価

第2期総合戦略の基本目標(数値目標)及び重要業績評価指標(KPI)の実績に対しての評価方法は、以下のとおりです。

なお、実績値について、統計の公表時期などの関係で把握できないものは直近の数値としました。

■進捗度による評価

- ・策定時の現状値を0%、R6目標値を100%とする。
- ・第2期総合戦略では、R2年度からR6年度の5か年で目標達成を目指すことから、R4年度の進捗度の目安は、60%とする。

＜年度毎の進捗度目安＞

R2年度	20%
R3年度	40%
R4年度	60%
R5年度	80%
R6年度	100%

■進捗度算出の計算式

$$(R4\text{実績値} - \text{策定時の現状値}) / (R6\text{目標値} - \text{策定時の現状値}) \times 100$$

※マイナス値の場合は0%

■評価の表示（進捗度をABCDで表示）

- A・・・目標達成
- B・・・進捗度60%以上100%未満
- C・・・進捗度60%未満
- D・・・進捗度0%

1 令和4年度実績評価総括表

■まち 「地域の魅力向上を図り、より快適で豊かに暮らせる環境をつくる」	1	1	2	6	1	11
■ひと 「子どもを産み育てやすい環境をつくり、結婚・出産・子育ての希望をかなえる」	1	0	0	7	0	8
■しごと 「地域に根差した産業を振興し、生活を支える所得が得られる仕事を創出する」	1	1	3	5	2	12
合計	3	2	5	18	3	31

【評価の解説】

計画期間が5か年であることから、R4年度の進捗率の目安を60%とする。

A・・・目標達成 B・・・60%以上100%未満 C・・・60%未満 D・・・0%

■まち

地域の魅力向上を図り、より快適で豊かに暮らせる環境をつくる	社会減数(人)	△ 606		△ 685		△ 549		9.4%	C	0
	定住意向割合(%)	73.7 895/1185(人)		(次回は、 R6年度に公表)		(次回は、 R6年度に公表)		－	現時点で 評価困難	80.0

(1)住み続けたいまちづくり戦略

①安全で快適に暮らせる生活基盤の確保	基盤整備に対する市民満足度(点)	42.2		(次回は、 R5年度に公表)		41.1		0.0%	D	60.0
	福祉・健康に対する市民満足度(点)	43.6		(次回は、 R5年度に公表)		39.8		0.0%	D	60.0
②まちの中心のにぎわい創出	市が関わった中心市街地への新規創業者数(件)	2		8		4		15.4%	C	15
	中心市街地での歩行者交通量(末広町線)(人)	休日 平日	492 597	休日 平日	262 403	休日 平日	361 518	0.0% 0.0%	D D	休日 平日 624 739

(2)ひととつながるまちの魅力発信戦略

①森・川・海の魅力を活かした観光の振興	観光入込客数(年間)(万人)	143		99		124		0.0%	D	150
	市内宿泊者数(年間)(万人)	28		18		20		0.0%	D	30
②住めばみやこ住むなら宮古の推進	宮古市に関する移住・定住イベントや支援策により移住した人数(累計:人)	1		17		28		93.1%	B	30
	移住定住相談会参加者数(年間:人) 【宮古市ブース来訪者】	13		16		58		100.0%	A	30

■ひと

子どもを産み育てやすい環境をつくり、結婚・出産・子育ての希望をかなえる	25-39歳人口の未婚率(%)	(H27国勢調査)	42	(次回は、 R5年度に公表)	(R2国勢調査)	45	0.0%	D	37
	子育て環境の満足度(点)		45.1	(次回は、 R5年度に公表)		44.1	0.0%	D	60.0

(1)結婚・出産・子育ての希望をかなえる戦略

①出会い・結婚・出産・子育て支援の展開	25-39歳までの女性人口(各年10月1日住民基本台帳人口)(人)	(H29)	3,386	(R2)	2,989	(R3)	2,834	0.0%	D	(R5)	3,200
	合計特殊出生率(%)	(H29)	1.62	(R2)	1.45	(R3)	1.41	0.0%	D	(R5)	1.74
	【上段 岩手県保健統計(注1)】 【下段 参考値:厚労省統計(注2)】 注1:毎年公表 注2:5年毎に公表	(H20~H24(H26))	1.58	(H25~H29(H31))	1.59	(H25~H29(H31))	1.59				
②働きながら子育てしやすいまちづくり	待機児童数(各年3月現在)(人)		2		0		0	100.0%	A		0
	仕事や地域活動などでの女性の活動のしやすさの市民満足度(10~40代平均)(点)		47.1	(次回は、 R5年度に公表)			39.5	0.0%	D		60.0

(2)郷土を愛し、拓く人づくり戦略

①未来へつなぐひとづくりの推進	生涯学習環境に対する市民満足度(10～40代平均) (点)	47.8	(次回は、 R5年度に公表)	42.3	0.0%	D	60.0
		(R1) 43.0	(R3) 38.6	(R4) 33.2			
	高校2年生の宮古市への愛着度(%)	166/386(人)	118/306(人)	89/268(人)	0.0%	D	60.0

■しごと

地域に根差した産業を振興し、生活を支える所得が得られる仕事を創出する	市民一人当たりの分配所得(万円)	(H29) 市 277 県 277 国 319	(R1) 市 273 県 278 国 318	(R2) 市 253 県 266 国 299	0.0%	D	国民所得
		国の値に 対する比率	86.8%	国の値に 対する比率	85.8%	国の値に 対する比率	84.6%
	高校新卒者のうち就職希望者の管内就職率(%)	44.0 93/210(人)	49.7 91/183(人)	47.4 63/133(人)	13.1%	C	70.0

(1)本州最東端から国内外に向けた産業振興戦略

①強い水産業の推進	魚市場水揚額(年間)(百万円)	6,452	3,996	5,234	0.0%	D	8,380
	魚市場水揚量(年間)(t)	23,540	24,148	20,315	0.0%	D	39,100
	1経営体あたりの漁業生産額(百万円)	7.9 5,469/696体	(次回は、 R6年度に公表)	(次回は、 R6年度に公表)	—	現時点で 評価困難	8.7 6,071/696体
②異業種連携による売れる商品づくりの推進	製造業総生産額(年間)(百万円)	18,900	18,600	22,200	100.0%	A	20,000
	市が支援する商品等の新規成約件数(年間)(件) ※加工品コンクール等の商品とする	4	事業廃止(R2)	事業廃止(R2)	—	現時点で 評価困難	5

(2)すべての人が活躍できる産業戦略

①地域の特色を活かし稼げる産業の実現	従業者1人当たりの売上金額(百万円)	(H28) 15.3 91,165/5,965人	(次回は、 R5年度に公表)	(R3) 16.0 93,591/5,854人	77.8%	B	16.2
	再生可能エネルギー導入容量(kw)	22,616	79,251	80,224	26.0%	C	244,000
②人材の確保・育成支援		8	24	30	42.3%	C	60
	一次産業新規就業者(累計)(人)	【内訳】 (農業) 2 (林業) 1 (水産業) 5	4 4 16	6 5 19	30.8% 28.6% 56.0%		15 15 30
	宮古公共職業安定所における就職率(年間)(%)	51.1 2,183/4,275件	44.3 1,742/3,929件	45.6 1,867/4,091件	0.0%	D	60.0
	就業者数(雇用保険被保険者数)(年間)(人)	18,622	17,616	17,376	0.0%	D	18,600

■基本目標に対する評価

数値目標	策定時(H30)	R4実績	進捗度	評価	目標(R6)
社会減数(人)	△ 606	△ 549	9.4%	C	0
定住意向割合(%)	73.7 895/1185(人)	(次回は、 R6年度に公表)	—	現時点で 評価困難	80.0

※ 社会減とは、地域の人口が、他地域からの転入、あるいは他地域への転出によって生じる増減のうち、減少を指す。

評価： A・・・目標達成 B・・・60%以上100%未満 C・・・60%未満 D・・・0%未満

■分析

数値目標である社会減数については、策定時と比較し改善しているものの、最終目標値に対する達成率は低い状況にある。旧庁舎跡地の整備、未広町の無電柱化などの基盤整備や防災体制の強化が進んでいる一方で、市民満足度についてはいずれも目標値を下回っている状況であり、特に地域医療の充実に対する市民満足度が低い結果となっている。全直営診療所の年間稼働率は100%を達成しているものの、満足度は年々低下しており、県立病院や民間医療機関も含めた地域医療全体の問題として、充実を図るための継続的な取り組みが必要である。

また、コロナ禍の影響を受けて実績が下火となっていた各種事業については、令和4年度でいずれも回復の傾向にあり、事業手法の工夫によりコロナ禍からの早期回復を図る必要がある。

今後は中心市街地の活性化、新たな公共交通の手法活用と並行した鉄道・バスの利用促進、地域資源を活用した体験型観光コンテンツの強化など、各施策のさらなる充実を図るため、施策間での連携や官民での連携も図り、市全体で目標実現に取り組む必要がある。

■(1)住み続けたいまちづくり戦略

①安全で快適に暮らせる生活基盤の確保

KPI	策定時(H30)	R4実績	進捗度	評価	目標(R6)
基盤整備に対する市民満足度(点)	42.2	41.1	0.0%	D	60.0
福祉・健康に対する市民満足度(点)	43.6	39.8	0.0%	D	60.0

評価： A・・・目標達成 B・・・60%以上100%未満 C・・・60%未満 D・・・0%未満

◎ 関連基本事業の進捗状況

基本事業		指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
a)鉄道の確保・充実と利用促進	三陸鉄道の市民1人当たりの年間利用回数	目標値	2.5	2.8	3.2	3.5	3.9	4.2
		実績値	3.0	3.8	3.6	3.7		
	JR山田線の市民1人当たりの年間利用回数	目標値	1.6	1.6	1.7	1.7	1.8	1.8
		実績値	0.9	0.6	0.5	0.4		
	三陸鉄道観光団体利用者数	目標値	37,000	43,200	49,400	55,600	61,800	68,000
		実績値	49,160	18,655	13,760	29,628		
【取組内容と評価】 三陸鉄道及びJR山田線の支援、施設整備、沿線市町村や地域住民と連携した利用促進を実施。コロナ禍の影響により利用者が低迷しているものの、三陸鉄道の利用回数は目標値を上回った。三陸鉄道観光団体利用者数は、コロナ禍により減少したが、回復傾向がみられる。								
基本事業		指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
b)路線バスの確保・充実と利用促進	路線バスの市民1人当たりの年間利用回数	目標値	17.6	17.9	18.1	18.4	18.7	20.2
		実績値	17.5	15.1	14.3	15.7		
	【取組内容と評価】 運行経費への助成や路線ルートの見直しなどを行うと共に、バス事業者等と連携した利用促進を実施。前年度と比較して回復傾向にあるが、コロナ禍前の水準には戻っていない。							
基本事業		指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
c)新たな公共交通手法の活用	新たな公共交通手法を活用した地域数	目標値	1.0	2.0	3.0	4.0	4.0	4.0
		実績値	1.0	2.0	2.0	3.0		
	【取組内容と評価】 公共交通を利用しにくい地域について、地域住民のニーズに合わせ、コミュニティバスとデマンド手法の導入など新たな公共交通手法の活用を実施。令和4年度は前年度から1地域増の実績となった。							

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
d)防災体制の整備	避難誘導標識整備率(%)	目標値	90	95	95	96	97	100
		実績値	91.67	99.36	99.36	100.00		
	情報発信ツールの充実(種類)	目標値	8	9	10	10	10	10
		実績値	9	10	10	10		
	【取組内容と評価】 的確で円滑な避難誘導を行うための標識整備や、市民に対する迅速かつ正確な情報提供のため、防災ラジオ、SNS等の活用など情報発信手段を拡充。観光客等に対するSNSを活用した分かりやすい情報発信の方法については、今後、研究していく。指標の実績値は横ばいだが、整備は目標値を上回るペースで進んでいる。市内での避難訓練を年2回実施しており、引き続き市民への防災意識の周知等に取り組んでいく。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
e)防災・減災教育の推進、地域防災力向上	自主防災組織のカバー率(%)	目標値	56.0	62.0	68.0	74.0	80.0	86.9
		実績値	51.5	50.2	51.6	56.5		
	防災士の人数(人)	目標値	331	365	415	600	600	600
		実績値	331	393	440	486		
	【取組内容と評価】 災害時において地域で活動する自主防災組織及び防災士の増加について取り組んでいる。自主防災組織については、目標値を下回っており、引き続き地域への働きかけが必要。防災士の資格取得には、自治会長、消防団分団長、自主防災会長等からの推薦が前提となっており、資格取得後は推薦を受けた組織で活動することを想定している。防災士については、目標値を大きく上回ったため、目標値を上方修正した。 地域防災力の向上の指標として、議会・市民推進委員会より意見のあった、消防団員数の充足・確保について追加を検討する。							

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
a)医療体制の充実	全直営診療所の年間稼働率(%)	目標値	100	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100	100		
	地域医療の充実に対する市民満足度(点)	目標値	-	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
		実績値	-	43.7	-	28.7		
	【取組内容と評価】 市民が安心して医療を受けられる場を確保するため、国保診療所(田老・新里・川井)を運営。目標値である年間稼働率100%を維持している。 令和4年度の市民満足度調査では、診療科目によって対応できる医療機関が少ない等の理由により満足度が低下しており、県立病院の診療科目の充実、医師及び看護師の確保に継続的に取り組む必要がある。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
b)福祉ネットワークづくりの推進	住民同士のつながりが広がる場や機会が身近にある環境に対する市民の満足度(点)	目標値	-	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
		実績値	-	43.8	-	40.7		
	【取組内容と評価】 避難行動要支援者について、制度の啓発や名簿未登録者への登録勧奨を実施するなど、地域の様々な福祉課題の解決につなげるため福祉ネットワークづくりの推進を図っている。目標値には達していないことから、地域住民、町内自治組織、民生委員、自主防災組織、消防団、学校等のネットワークの構築を図るなど、住民同士のつながりの創出を目指した取り組みが必要である。							

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
c)自立した暮らしを継続する支援	介護予防教室参加者数(人)	目標値	1,950	2,050	1,900	2,000	2,100	2,100
		実績値	2,009	586	589	968		
	【取組内容と評価】 コロナ禍の影響により事業中止や一時停止を余儀なくされていたが、令和4年度は回復傾向にある。目標値を下回っており、今後は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を注視しながら、参加者の増加を図ることが必要である。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
d)子育て支援体制の充実	就学前子どもの保育施設等利用割合(%)	目標値	85	85	85	85	85	85
		実績値	76	78	79	79		
	待機児童数(各年3月現在)(人)	目標値	0	0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0	0		
	【取組内容と評価】 国の幼児教育・保育の無償化の実施に併せて、市独自支援で範囲の拡大を行い、保育に要する費用の無償化を実施するとともに、在宅子育て支援金や子育て支援拠点の運営等により多様な子育て環境に対応した支援体制の充実を図っている。							

②まちの中心のにぎわい創出

KPI	策定時(H30)	R4実績	進捗度	評価	目標(R6)
市関わった中心市街地への新規創業者数(件)	2	4	15.4%	C	15
中心市街地での歩行者交通量(末広町線)(人)	休日492	休日361	0.0%	D	休日624
	平日597	平日518	0.0%	D	平日739

評価: A・・・目標達成 B・・・60%以上100%未満 C・・・60%未満 D・・・0%未満

◎ 関連基本事業の進捗状況

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
a)市道末広町線無電柱化の整備	整備計画に対する整備率(%)	目標値	0.0	25.0	50.0	75.0	90.0	100.0
		実績値	-	6.3	31.8	56.3		
	【取組内容と評価】 令和3年度は、用地購入が完了したため、進捗速度が加速したものの、目標値には届かなかった。中心市街地の回遊性の向上による賑わい創出のため、早期の事業完了を目指す必要がある。							

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
b)宮古市役所庁舎跡地の整備	宮古市役所庁舎跡地の整備	目標値	35.0	100.0				
		実績値	35.0	80.0	100.0			
	基盤整備に対する市民満足度(点)	目標値	-	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
		実績値	-	45.3	-	41.1		
	【取組内容と評価】 旧宮古市役所庁舎跡地を活用し、「賑わいを創出し、共に育む」空間の拠点となる公園の整備を実施。令和3年8月1日にうみどり公園が開園した。今後は、完成した公園の利用者の増加とともに、子育て世代等の満足度の向上が期待される。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
c)魅力ある商業活動の推進	商工会議所会員数(卸・小売・サービス業)(人)	目標値	750	750	750	750	750	750
		実績値	731	760	771	849		
	中心市街地への新規創業者数(件)	目標値	15	15	15	15	8	8
		実績値	5	8	8	4		
	【取組内容と評価】 事業所の経営支援を目的に、商工会議所による経営指導や新規創業者に対する情報提供・創業支援を実施。個別相談や創業後のコミュニティ形成、販路拡大など伴走支援体制の構築に努めている。新規創業者は目標値に届かなかったものの、会議所の会員数はコロナ禍からの回復を目指す事業者の入会等により増加傾向にあり、魅力発信や経営改善に向けた取り組みを推進する必要がある。							

■(2)ひとつつながるまちの魅力発信戦略

①森・川・海の魅力を活かした観光の振興

KPI	策定時(H30)	R4実績	進捗度	評価	目標(R6)
観光入込客数(年間)(万人)	143	124	0.0%	D	150
市内宿泊者数(年間)(万人)	28	20	0.0%	D	30

評価： A・・・目標達成 B・・・60%以上100%未満 C・・・60%未満 D・・・0%未満

◎ 関連基本事業の進捗状況

基本事業							
指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
a)受入体制の整備	来訪者満足度(%)	目標値	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
		実績値	80.1	71.0	72.2	76.2	
	【取組内容と評価】 浄土ヶ浜地区の環境保全や学ぶ防災、観光関連施設の利用促進等を実施。コロナ禍の影響により令和2年度以降満足度に伸び悩みがあったものの、遊覧船の運航再開や三陸沿岸道路の整備等による交通アクセスの向上等を契機とし、令和4年度は目標値を上回る実績となった。 今後も観光客動態調査を継続実施し、観光消費額や再訪意欲の詳細な分析を基に観光戦略を推進していく。						

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
b)地域観光資源の活用	体験型観光ツアー参加者(人泊)	目標値	100	100	100	100	100	100
		実績値	76	153	0	100		
	閉伊川流域イベント参加者数(人)	目標値	-	-	2,540	3,320	3,620	3,820
		実績値	-	-	3,225	4,004		
	区界高原観光資源活用事業参加者数(人)	目標値	-	-	780	1,000	1,500	1,500
		実績値	-	-	1,552	2,429		
	【取組内容と評価】 観光客誘致を目的とするイベント等の開催支援や、三陸ジオパークのみちのく潮風トレイルコースのほか、閉伊川流域や区界高原等の地域観光資源を活用した体験型観光プログラムを実施。実績は増加傾向にあり、今後も継続的に、市民との協働により魅力発信を行い観光客誘致を図る必要がある。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
c)情報の発信	宮古観光文化交流協会ホームページアクセス数(件)	目標値	74,598	78,700	82,600	86,800	91,000	95,000
		実績値	157,857	252,979	373,470	241,854		
	【取組内容と評価】 観光文化交流協会のHPに「瓶ドン」を始めとしたコンテンツをSNS等と連携して掲載。令和4年度はHPの全面リニューアルを行ったことにより、新ホームページのアクセス数のみの集計としているため件数は減少しているが、月間リーチ数は上回っている。また、観光イベント参加者へのアンケート調査の結果においても、SNS、インターネットの情報により参加した人の割合が3割以上を占めており、効果が高いものと認められる。今後もSNSを活用し効果的に魅力が伝わるよう総合的な情報発信に努める必要がある。 ※令和4年度はホームページの公開一時休止期間あり							

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
d)災害教訓の伝承・情報発信	学ぶ防災来訪者数 (人)	目標値	18,894	19,082	19,272	19,461	19,650	19,839
		実績値	20,625	7,670	10,596	13,630		
	【取組内容と評価】 津波遺構たろう観光ホテルを活用し、「学ぶ防災」の取組を実施。令和2年度にコロナ禍の影響により大きく減少したが、それ以降少しずつ回復傾向にある。今後も観光振興と連動した防災教育の推進を図るとともに、学ぶ防災の来訪者数増を図るために、SNS、インターネット等を駆使した情報発信に努める必要がある。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
e)港湾の活用	港湾利用企業の誘致企業数(件)	目標値	1	1	1	1	1	1
		実績値	0	0	0	0		
	客船寄港回数(回)	目標値	5	8	6	6	8	8
		実績値	5	0	2	5		
	【取組内容と評価】 港湾利用企業の誘致(立地)に向けては、港湾振興課を企業立地港湾課に改組して企業立地推進係を新設し、専任で企業立地を推進する職員2名を配置した。藤原ふ頭工業団地などの工業団地、産業用地と、立地に係る優遇制度などを紹介する企業立地ガイドを作成し、都内でのセミナーや企業訪問などを通じて港湾利用企業の誘致・立地に向けた取り組みを強化しており、今後も継続的に実施する必要がある。 大型客船の誘致と受入体制の整備を実施した。コロナ禍の影響により多くのクルーズが中止となったが、寄港予約数は過去最多となっており、今後の増加が見込まれる。今後は受入態勢を整備するとともに、17万トンクラスの客船が寄港できる北日本では数少ない港のひとつであることなどをセールスポイントとして、新たな船社やチャーターに対して積極的にポートセールスを展開する必要がある。							

②住めばみやこ住むなら宮古の推進

KPI	策定時(H30)	R4実績	進捗度	評価	目標(R6)
宮古市に関係する移住・定住イベントや支援策により移住した人数(累計:人)	1	28	93.1%	B	30
移住定住相談会参加者数(年間:人)【宮古市ブース来訪者】	13	58	100.0%	A	30

評価: A・・・目標達成 B・・・60%以上100%未満 C・・・60%未満 D・・・0%未満

◎ 関連基本事業の進捗状況

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
a)サーモンランドの魅力発信	移住者向けホームページアクセス数(年間)(件)	目標値	-	10,000	20,000	30,000	40,000	50,000
		実績値	5,704	18,065	21,563	32,665		
	【取組内容と評価】 移住者向けのページやSNS等により、宮古市の情報を発信。令和2年度HP全面リニューアル後、継続した情報発信によりアクセス数が増加し、目標を達成した。今後も、継続した情報発信を行い、本市へ興味を持つきっかけを創出していく。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
b)移住者増加の促進	移住定住相談会 宮古市ブース来訪者数(人) ※来訪者数＝相談者数	目標値	-	30	30	30	30	30
		実績値	55	4	16	58		
	【取組内容と評価】 移住相談会の開催や他団体の移住関連イベントへの出展を実施。令和2・3年度ともにコロナ禍の影響によりイベント中止やオンライン開催が相次いだため実績が減少していたが、令和4年度は参加イベントが増加したことから目標値を上回った。今後も移住者増加を促進するため、広域エリアで連携した移住イベントの開催及び参加が必要である。							

◎ 関連民間事業に対する評価

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
a) 瓶ドン事業(実施主体:一般社団法人宮古観光文化交流協会)	宮古市への訪問目的で「食事」を回答した割合(%)	目標値	-	-	-	-	-	-
		実績値	24.2	55.4	56.2	59.9		
	仕入本数(本)	目標値	-	-	-	-	-	-
		実績値	-	98,219	126,523	91,418		
	【取組内容と評価】 ご当地丼である「瓶ドン」について、市内の飲食店に限り商標利用を許可し、市内全体で取り組むことで、観光客のうち食事を目的とする割合が増加している。また、ふるさと納税等の返礼品として登録し、宮古市の周知等の地域貢献に繋がっている。コロナの影響で観光客が減少する中で、「瓶ドン」の通信販売実績は好調であり、巣ごもり需要の中で「瓶ドン」通信販売による、全国への宮古市PRの効果は大きい。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
b) #ウミネコミヤコの潮風便(実施主体:NPO法人みやっこベース)	申込学生数(人)	目標値	-	1,000	-	-	-	-
		実績値	-	709	-	-		
	申込学生の満足度(%)	目標値	-	-	-	-	-	-
		実績値	-	95	-	-		
	参加企業の満足度(%)	目標値	-	-	-	-	-	-
		実績値	-	95	-	-		
	公式LINE登録者数(人)	目標値	-	-	-	-	-	-
		実績値	-	119	-	-		
	【取組内容と評価】 親元を離れて暮らす学生に宮古のギフトを無料で届けた。申込学生数は目標値を下回ったが、申込学生及び参加企業の満足度は高かった。令和3年度はギフトの送付なし。							

■基本目標に対する評価

数値目標	策定時(H30)	R4実績	進捗度	評価	目標(R6)
25-39歳人口の未婚率(%)	(H27国勢調査) 42	(R2国勢調査) 45	0.0%	D	37
子育て環境の満足度(点)	45.1	44.1	0.0%	D	60.0

評価: A…目標達成 B…60%以上100%未満 C…60%未満 D…0%未満

■分析

未就学児に関しては、国の幼児教育・保育の無償化の実施に併せて、市独自支援で範囲の拡大を行い、保育に要する費用の無償化を実施するとともに、在宅子育て支援金や子育て支援拠点の運営等により多様な子育て環境に対応した支援体制の充実を図っている。また小中学校においても、地域住民等と連携し、地域の伝統や歴史、災害に対する学びなどの学習を行っており、子どもの愛着度を向上させるための取り組みを実施している。

この一方で、数値目標である未婚率、市民満足度ともに策定時から数値が悪化しており、最終目標値に対する達成率は低い状況にある。また、高校2年生の宮古市への愛着度については令和2年度より市内の高校と連携し、生徒が地域を知る取り組みを始めているが、数値には表れていない状況にある。

今後は、子育て環境の充実、小中学生、高校生とそれぞれの過程における愛着度の向上に向けた取り組みを継続するとともに、施策間での連携や官民での連携も図り、市全体で目標実現に取り組む必要がある。

■(1)結婚・出産・子育ての希望をかなえる戦略

①出会い・結婚・出産・子育て支援の展開

数値目標	策定時(H30)	R4実績	進捗度	評価	目標(R6)
25-39歳までの女性人口(各年10月1日住民基本台帳人口)(人)	(H29) 3,386	(R3) 2834	0.0%	D	(R5) 3,200
合計特殊出生率(%) 【上段 岩手県保健統計(注1)】 【下段 参考値:厚労省統計(注2)】	(H29) 1.62 (H20~H24(H26)) 1.58	(R3) 1.41 (H25~H29(H31)) 1.59	0.0%	D	(R5) 1.74

注1:毎年公表 注2:5年毎に公表

評価: A…目標達成 B…60%以上100%未満 C…60%未満 D…0%未満

◎ 関連基本事業の進捗状況

基本事業		指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
a)魅力ある商業活動の推進 【再掲】	商工会議所会員数 (卸・小売・サービス業)(人)	目標値	750	750	750	750	750	750
		実績値	731	760	771	849		
	中心市街地への新規創業者数(件)	目標値	15	15	15	15	8	8
		実績値	5	8	8	4		
	【取組内容と評価】 事業所の経営支援を目的に、商工会議所による経営指導や新規創業者に対する情報提供・創業支援を実施。新規創業者は目標値に届かなかったものの、会議所の会員数はコロナ禍からの回復を目指す事業者の入会等により増加傾向にあり、魅力発信や経営改善に向けた取り組みを推進する必要がある。							
基本事業		指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
b)雇用の促進	補助金・奨励金交付対象者数(人)	目標値	80	80	80	80	80	80
		実績値	66	63	64	68		
	新規卒者等就労奨励金申請件数(件)	目標値	100	100	100	100	100	100
		実績値	86	98	80	88		
	【取組内容と評価】 地元での安定的な就業を促進するため、離職者資格取得支援補助金、トライアル雇用奨励金等の支援策を実施するほか、新規卒者等就労奨励金により新規高卒者の地元就職やU・Iターン者の増加を図っている。令和4年度はいずれも目標を下回っており、離職者の再就職や常用雇用を継続的に支援するとともに、新規高卒者の地元就職やU・Iターン者の増加に向けた取り組みを推進する必要がある。							

基本事業								
基本事業		指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
c)移住者増加の促進【再掲】	移住定住相談会 宮古市ブース来訪者数(人)	目標値	-	30	30	30	30	30
		実績値	55	4	16	58		
	【取組内容と評価】 移住相談会の開催や他団体の移住関連イベントへの出展を実施。令和2・3年度ともにコロナ禍の影響によりイベント中止やオンライン開催が相次いだため実績が減少していたが、令和4年度は参加イベントが増加したことから目標値を上回った。今後も移住者増加を促進するため、広域エリアで連携した移住イベントの開催及び参加が必要である。							

基本事業								
基本事業		指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
a)母子の健康づくりの推進	11週以下での妊娠届出率(%)	目標値	93.0	95.0	97.0	98.0	99.0	100.0
		実績値	93.2	94.6	94.4	94.6		
	3歳児健康診査受診率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		実績値	96.8	99.1	99.0	97.3		
	【取組内容と評価】 適切な妊婦の健康管理や3歳児の発育・発達の確認、疾病の早期発見のために必要な健康診査等に繋げるため、市HP等による周知や医療機関等と連携を実施。目標値はいずれも下回ったものの、実績値は高く、引き続き取り組む必要がある。							

基本事業		指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
b)子育て支援体制の充実【再掲】	就学前子どもの保育施設等利用割合(%)	目標値	85	85	85	85	85	85
		実績値	76	78	79	79		
	待機児童数(各年3月現在)(人)	目標値	0	0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0	0		
	【取組内容と評価】 国の幼児教育・保育の無償化の実施に併せて、市独自支援で範囲の拡大を行い、保育に要する費用の無償化を実施するとともに、在宅子育て支援金や子育て支援拠点の運営等により多様な子育て環境に対応した支援体制の充実を図っている。							

②働きながら子育てしやすいまちづくり

KPI	策定時(H30)	R4実績	進捗度	評価	目標(R6)
待機児童数(各年3月現在)(人)	2	0	100.0%	A	0
仕事や地域活動などでの女性の活動のしやすさの市民満足度(10～40代平均)(点)	47.1	39.5	0.0%	D	60.0

評価： A・・・目標達成 B・・・60%以上100%未満 C・・・60%未満 D・・・0%未満

◎ 関連基本事業の進捗状況

基本事業		指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
a) 保育サービスの充実	待機児童数(各年3月現在)(人)	目標値	0	0	0	0	0	0
		実績値	0	0	0	0		
	一時的保育の延利用者数(人)	目標値	850	850	850	850	850	850
		実績値	729	378	310	344		
	病後児保育の延利用者数(人)	目標値	14	10	10	10	10	10
		実績値	7	5	12	14		
	延長保育を利用した実人数(人)	目標値	93	95	95	95	95	95
		実績値	93	65	58	60		
	【取組内容と評価】 安心して子育てができるよう保育施設等の保育サービスの充実を図っている。目標値である待機児童数ゼロを維持した。保護者の多様な就労形態等に対応するため、一時保育や病後児保育等の特別保育サービスの提供を継続して実施する必要がある。							

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
b)放課後児童の健全育成	学童の家利用者の満足度(%)	目標値	91.0	91.0	91.0	91.0	91.0	91.0
		実績値	92.6	89.3	94.0	90.3		
	放課後子ども教室利用者の満足度(%)	目標値	95.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0
		実績値	90.9	93.8	89.6	93.5		
	【取組内容と評価】 児童の健全育成のため、学童の家を開設。入館者の多い学童の家における施設の狭隘化が指摘されており、利用者満足度にも反映されていると考えられることから、環境改善を図る必要がある。 放課後子ども教室については、令和4年度において長期休暇中も含め事業を運営。利用者満足度の向上が図られており、引き続き保護者のニーズに応えながら運営していく必要がある。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
c)労働者の福祉の充実	勤労者等対策事業の利用者数(人)	目標値	15	15	15	15	15	15
		実績値	8	4	2	2		
	【取組内容と評価】 労働者の福祉の充実のため、勤労者等対策事業(勤労者生活安定資金、勤労者教育資金、出稼ぎ互助会)を実施。資金需要の減少や、出稼ぎ労働者の減少により、勤労者等対策事業の利用者数が減少した。今後も、当該事業の周知を行うとともに、事業者に対する働き方改革やワークライフバランス推進の働きかけについても、広報等で周知活動を行う必要がある。							

■(2)郷土を愛し、拓く人づくり戦略

①未来へつなぐひとづくりの推進

KPI	策定時(H30)	R4実績	進捗度	評価	目標(R6)
生涯学習環境に対する市民満足度(10～40代平均)(点)	47.8	42.3	0.0%	D	60.0
高校2年生の宮古市への愛着度(%)	(R1) 43.0 166/386(人)	(R4) 33.2 89/268(人)	0.0%	D	60.0

評価: A…目標達成 B…60%以上100%未満 C…60%未満 D…0%未満

◎ 関連基本事業の進捗状況

基本事業								
指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a)豊かな心を育む教育の推進	読書率 (小学校)(%)	目標値	69.0	69.0	69.0	69.0	69.0	69.0
		実績値	69.0	77.0	82.0	72.0		
	読書率 (中学校)(%)	目標値	59.0	59.0	59.0	59.0	59.0	59.0
		実績値	55.0	59.0	62.0	60.0		
	児童生徒の自尊意識・規範意識調査結果(全国学力・学習状況調査)小学校(%)	目標値	88.1	88.1	88.1	88.1	88.1	88.1
		実績値	83.4	-	75.4	85.0		
	児童生徒の自尊意識・規範意識調査結果(全国学力・学習状況調査)中学校(%)	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
		実績値	78.3	-	72.4	75.0		
【取組内容と評価】 読書環境の整備のため、学校図書館支援員を配置。地域の伝統や歴史、災害、国際、姉妹都市等との交流学习など、ふるさと宮古に誇りを持てるような学習を実施。読書率は小学校・中学校ともに目標値を達成した。子ども達のまちへの愛着度を高めるため、地域に関する学習は必要不可欠であることから、引き続き取り組みを進める必要がある。								

基本事業		指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
b)教育環境の充実	コミュニティ・スクール設置率(対計画数)(%)	目標値	0	50	75	100	100	100	
		実績値	0	0	0	100			
	【取組内容と評価】 学校が地域や子どもの実情に応じて主体的に創意工夫のある教育活動が展開できるよう、学校評議員制度から学校運営協議会(コミュニティスクール)制度への移行の準備を進め、令和4年度において市内全中学校区(11中学校区)に設置した。今後は保護者や地域住民と協働し、継続して取り組むことが必要である。								
基本事業		指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
c)地域農産物の消費拡大	農業体験の参加者数(人)	目標値	90	90	90	90	90	90	
		実績値	77	47	68	66			
	学校給食食材供給割合(%)	目標値	30.0	40.0	45.0	50.0	50.0	50.0	
		実績値	38.3	33.9	33.3	32.0			
【取組内容と評価】 地域農産物に対する意識啓発と学校給食での宮古市産農林水産物の利用拡大のため、農業体験や学校給食食材への農産物供給を行っている。農業体験参加者数は微減しており、参加者アンケートの結果を踏まえた事業の改善や、さらなる情報の発信が必要である。また、学校給食への食材供給割合は微減しており、納入要件と供給量のバランスも踏まえたうえで、宮古市給食センター食材供給部会と連携し、改善に取り組む必要がある。									

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
a)推進体制の充実	リーダーバンク及び生涯学習ボランティア登録者数(人)	目標値	320	181	183	185	187	189
		実績値	177	178	177	141		
	リーダーバンク及び生涯学習ボランティア登録者の派遣延べ人数	目標値	1600	406	414	422	430	439
		実績値	368	258	315	675		
	【取組内容と評価】 経験や知識を有する指導者をリーダーバンクに登録し、派遣や紹介を実施。リーダーバンク登録者はコロナ禍の影響で減となったが、派遣延人数についてはコロナ対策をしたうえでの実施が定着したこともあり、実績が増加した。今後も登録者の増加に向けて取り組むと共に、市民の学習活動等の支援のため、ボランティア派遣についてSNS等によるPRも行う必要がある。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
b)学校・家庭・地域の連携と協働	コミュニティ・スクール設置率(対計画数)(%)	目標値	0	50	75	100	100	100
		実績値	0	0	0	100		
	【取組内容と評価】 学校が地域や子どもの実情に応じて主体的に創意工夫のある教育活動が展開できるよう、学校評議員制度から学校運営協議会(コミュニティスクール)制度への移行の準備を進め、令和4年度において市内全中学校区(11中学校区)に設置した。今後は保護者や地域住民と協働し、継続して取り組むことが必要である。							

基本事業								
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
c)スポーツ環境の整備	体育施設等利用者数(人)	目標値	404,000	461,000	455,000	448,000	442,000	435,000
		実績値	345,303	250,013	257,097	278,279		
	【取組内容と評価】 計画的な施設の改修や小中学校の体育館等の開放を実施。また、新しいスポーツへの対応を推進。施設の改修については、引き続き計画に基づいて実施する。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
b)活動機会の提供	各種大会等参加者数(人)	目標値	6,608	8,200	8,100	7,900	7,800	7,700
		実績値	6,608	659	2,412	3,402		
	【取組内容と評価】 各種スポーツ教室の充実など、活動機会の提供を実施。「みやこスポーツ」コミッション連絡会議を中心に、各種イベント開催のほか、スポーツによる交流人口拡大に向けて、更なるスポーツ合宿の誘致などの取組が必要である。							

◎ 関連民間事業に対する評価

基本事業								
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
a)ルーキーズカレッジ(実施主体:宮古市/NPO法人みやっこベース/宮古商工会議所)	参加企業(社)	目標値	—	—	—	—	—	—
		実績値	18	15	34	26		
	参加者(人)	目標値	—	—	—	—	—	—
		実績値	24	24	70	69		
	参加者満足度(%)	目標値	—	—	—	—	—	—
		実績値	—	—	94	89		
	【取組内容と評価】 コミュニケーション演習等を題材に、宮古地域の新社会人1～3年目を対象とした合同研修を行っている。令和4年度は企業数は減少したものの、参加者数は前年並みとなっており、宮古管内企業における事業の認知と定着が進んでいる。							

■基本目標に対する評価

数値目標	策定時(H30)	R4実績	進捗度	評価	目標(R6)
市民一人当たりの分配所得(万円)	(H29)	(R2)			
	市 277	市 253			
	県 277	県 266			
	国 319	国 299	0.0%	D	国民所得
	国の値に 対する比率 86.8%	国の値に 対する比率 84.6%			
高校新卒者のうち就職希望者の管内就職率(%)	44.0 93/210(人)	47.4 63/133(人)	13.1%	C	70.0

評価: A・・・目標達成 B・・・60%以上100%未満 C・・・60%未満 D・・・0%未満

■分析

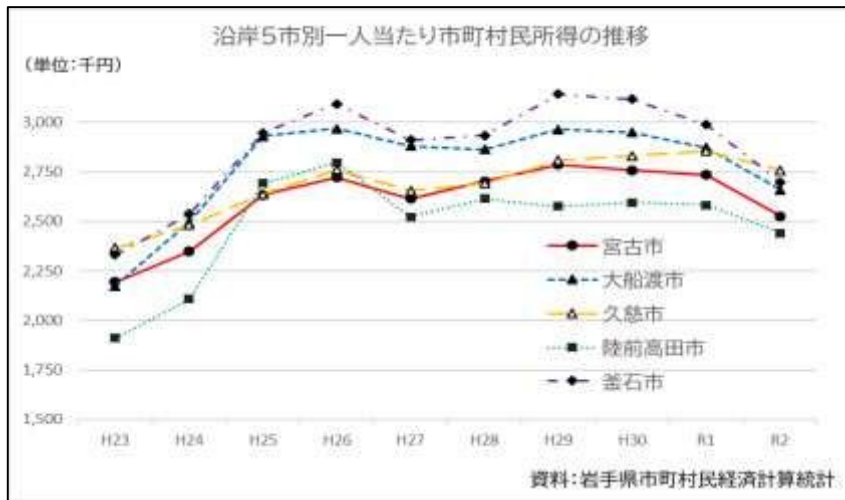
数値目標である市民一人当たりの分配は、国民所得に対し84.6%と策定時から数値が悪化している。高校新卒者のうち就職希望者の管内就職率については策定時と比較し改善しているものの、最終目標値に対する達成率は低い状況にある。

地域産業については、全体がコロナ禍により多大な影響を受けていると推察されるなか、水産業については、地域に根ざした産業振興及び所得の向上や仕事の創出のために、魚類養殖の取り組みなどを継続的に進め、持続的に水産資源を確保するとともに、付加価値や認知度を向上させる取り組みが必要である。また産業支援体制については、コロナ禍からの事業回復を目指す事業者からの相談への対応・支援など、社会情勢の動向を踏まえ適切に対応していくことが必要である。

企業誘致については、新規誘致が1社であるが、全国的に製造業における景気も低迷していることから、現在市内で操業している企業に対して、工場の新設・増設への支援を行っていくとともに、U・Iターンなどによる雇用の創出に向けた取り組みを強化することが必要である。

再生可能エネルギーについては、エネルギービジョンに基づき、多様な再生可能エネルギーの導入促進に向けた地域主体の取り組みを実施。再生可能エネルギーの導入容量は年々増加しており、今後はさらなる導入拡大を図るとともに、エネルギーの地産地消による地域内経済の好循環を目指す必要がある。

なお、民間においても人材の確保・育成への取り組み、食の付加価値を高める取り組みが展開されており、官民連携した取り組みにより拡大及び発展に繋げることが必要である。



沿岸市町村別一人当たり市町村民所得の推移
(単位:千円)

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
宮古市	2,194	2,349	2,634	2,721	2,615	2,701	2,785	2,757	2,734	2,525
大船渡市	2,174	2,495	2,930	2,968	2,881	2,863	2,963	2,948	2,871	2,659
久慈市	2,365	2,481	2,637	2,759	2,654	2,691	2,808	2,830	2,855	2,758
陸前高田市	1,911	2,108	2,692	2,796	2,522	2,613	2,576	2,594	2,582	2,441
釜石市	2,331	2,536	2,946	3,092	2,911	2,934	3,142	3,117	2,987	2,697
住田町	2,085	2,144	2,289	2,231	2,227	2,415	2,564	2,547	2,577	2,518
大槌町	1,551	1,709	2,173	2,508	2,586	2,734	2,799	2,958	2,685	2,318
山田町	1,591	1,805	2,206	2,354	2,465	2,606	2,582	2,547	2,479	2,264
岩泉町	1,956	2,183	2,393	2,441	2,287	2,339	2,506	2,590	2,593	2,330
田野畑村	2,156	2,183	2,735	2,584	2,577	2,495	2,661	2,974	2,783	2,845
普代村	2,240	2,595	2,440	2,495	2,506	2,847	3,129	3,120	2,850	2,896
野田村	2,068	2,277	2,636	2,631	2,595	2,618	2,808	2,711	2,700	2,518
洋野町	1,988	2,165	2,241	2,273	2,253	2,338	2,455	2,447	2,453	2,468

資料:岩手県市町村民経済計算統計

■(1)本州最東端から国内外に向けた産業振興戦略

①強い水産業の推進

KPI	策定時(H30)	R4実績	進捗度	評価	目標(R6)
魚市場水揚額(年間)(百万円)	6,452	5,234	0.0%	D	8,380
魚市場水揚量(年間)(t)	23,540	20,315	0.0%	D	39,100
1経営体あたりの漁業生産額(百万円)	7.9 5,469/696体	(次回は、 R6年度に公表)	—	現時点で 評価困難	8.7 6,071/696体

評価： A・・・目標達成 B・・・60%以上100%未満 C・・・60%未満 D・・・0%未満

◎ 関連基本事業の進捗状況

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
a)生産の拡大	魚市場水揚量(t)	目標値	26,133	28,726	31,319	33,912	36,505	39,100
		実績値	18,973	21,683	24,148	20,315		
	養殖漁業生産量(t)	目標値	10,091	10,209	10,327	10,445	10,563	10,683
		実績値	9,348	8,112	9,132	9,888		
	【取組内容と評価】							
	「つくり育てる漁業」の中心となる沿岸漁業の振興のため、養殖漁業の安定生産や前浜資源の維持・増大の取り組みを支援してきた。魚市場の水揚量については、主力魚種である秋サケやサンマの不漁により目標水揚量は達成できなかった。また、養殖漁業生産量についても、年々実績が増加しているものの、目標値には届かなかった。今後は、宮古トラウトサーモンの生産量増加に加え、新たな養殖魚種への取組による生産量の増加が必要です。							

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
b)経営基盤の強化	漁協組合員(人)	目標値	2,073	2,073	2,073	2,073	2,073	2,073
		実績値	2,041	2,002	1,914	1,850		
	【取組内容と評価】 漁業経営体の経営基盤を強化するため、関係機関と連携して利子補給等を実施している。漁協組合員は減少傾向にあることから、担い手育成と併せ、経営体への継続的な支援が必要である。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
c)担い手の確保・育成(水産業)	宮古市漁業担い手確保 対策事業補助金就漁計 画認定者数	目標値	6	6	6	6	6	6
		実績値	2	5	1	3		
	【取組内容と評価】 担い手確保のため、新規就業者への助成等を実施。目標には達していない。市のHP等をより分かりやすいものに改善・強化し、支援制度のPRなどに力を入れる必要がある。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
d)流通加工体制の整備	魚市場水揚額(千円)	目標値	5,112,000	5,765,600	6,419,200	7,072,800	7,726,400	8,380,000
		実績値	4,970,774	4,887,711	3,996,221	5,234,463		
	【取組内容と評価】 宮古市魚市場の経営安定化と水揚量の増大のため、廻来船誘致活動やブランド戦略の支援などを実施。前年度より増となつてはいるが、海洋状況の変化等の要因により目標水揚額は達成できなかった。 引き続き、水産物をPRするためのイベント開催などにより、ブランド力の強化を図っていく。							

②異業種連携による売れる商品づくりの推進

KPI	策定時(H30)	R4実績	進捗度	評価	目標(R6)
製造業総生産額(年間)(百万円)	18,900	22200	100.0%	A	20,000
市が支援する商品等の新規成約件数(年間)(件)	4	事業廃止(R2)	—	現時点で評価困難	5

評価： A・・・目標達成 B・・・60%以上100%未満 C・・・60%未満 D・・・0%未満

◎ 関連基本事業の進捗状況

基本事業								
基本事業		指標名	R元	R2	R3	R4	R5	R6
a)モノづくりの環境整備	従業員一人当たりの現金給与総額(万円)	目標値	279	323	323	323	323	323
		実績値	316	318	318	324		
	セミナー、研修等への参加者数(人)	目標値	300	110	110	110	110	110
		実績値	352	201	98	165		
	【取組内容と評価】							
	技術力強化のため、関係機関と協力し、人材育成を目的としたセミナー等を開催。コロナ禍の影響で開催が縮小されていたセミナー等については、令和4年度は回復傾向にある。							

基本事業		指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
b)企業立地の推進	工場等の新設・増設等件数(件)	目標値	5	1	1	1	1	1	1
		実績値	4	0	0	1			
	工場等の新設増設による従業員数(人)	目標値	36	5	5	5	5	5	5
		実績値	24	0	0	2			
	【取組内容と評価】								
	企業誘致の活動として、新規企業との交渉や、既存誘致企業との意見交換のための企業訪問を実施。令和4年度は47社(うち新規企業35社)を訪問した。 令和4年度は、平成25年以来10年振りに事業所が新設となり、目標件数を達成。今後も工場等の新設・増設を促進するため、誘致活動を継続して展開していく。								

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
a)産業支援体制の充実	相談等の件数(件)	目標値	-	660	660	660	660	660
		実績値	616	338	296	324		
	セミナー・研修等参加者数(人)	目標値	200	160	160	160	160	160
		実績値	213	63	90	240		
	【取組内容と評価】							
	人材育成や製品開発等、事業者支援のため、各種研修等を実施するとともに、事業者の相談体制を構築。相談件数、セミナー・研修等参加者ともに増加しており、今後も社会状況の変化等の動向把握に努め、支援体制の充実を図る必要がある。							

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
b)食産業の支援	展示商談会等に出展した事業者数 (件)	目標値	50	75	75	75	75	75
		実績値	60	16	29	58		
	【取組内容と評価】 展示商談会への出展支援を実施。令和2年度以降、コロナ禍の影響により展示商談会への出展中止が多数あったが、令和4年度は回復傾向にある。市HPではECサイトを紹介するなど、情報発信の取り組みも行っており、今後も情報発信の強化や産業間の連携強化を図る必要がある。							

■(2)すべての人が活躍できる産業戦略

①地域の特色を活かし稼げる産業の実現

KPI	策定時(H30)	R4実績	進捗度	評価	目標(R6)
従業者1人当たりの売上金額(百万円)	(H28) 15.3 91,165/5,965人	(R3) 16.0 93,591/5,854人	77.8%	B	16.2
再生可能エネルギー導入容量(年間)(kw)	22,616	80,224	26.0%	C	244,000

評価: A・・・目標達成 B・・・60%以上100%未満 C・・・60%未満 D・・・0%未満

◎ 関連基本事業の進捗状況

基本事業								
指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6	
a)モノづくりの環境整備 【再掲】	従業員一人当たりの現金給与総額(万円)	目標値	279	323	323	323	323	323
		実績値	316	318	318	324		
	セミナー、研修等への参加者数(人)	目標値	300	110	110	110	110	110
		実績値	352	201	98	165		
	【取組内容と評価】							
	技術力強化のため、関係機関と協力し、人材育成を目的としたセミナー等を開催。コロナ禍の影響で開催が縮小されていたセミナー等については、令和4年度は回復傾向にある。							

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
b)企業立地の推進【再掲】	工場等の新設・増設等件数(件)	目標値	5	1	1	1	1	5
		実績値	4	0	0	1		
	工場等の新設増設による従業員数(人)	目標値	36	5	5	5	5	25
		実績値	24	0	0	2		
	【取組内容と評価】 企業誘致の活動として、新規企業との交渉や、既存誘致企業との意見交換のための企業訪問を実施。令和4年度は全47社(うち新規企業35社)を訪問した。 令和4年度は、平成25年以来10年振りに事業所が新設となり、目標件数を達成。今後も工場等の新設・増設を促進するため、誘致活動を継続して展開していく。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
c)産業支援体制の充実【再掲】	相談等の件数(件)	目標値	-	660	660	660	660	660
		実績値	616	338	296	324		
	セミナー・研修等参加者数(人)	目標値	200	160	160	160	160	160
		実績値	213	63	90	240		
	【取組内容と評価】 人材育成や製品開発等、事業者支援のため、各種研修等を実施するとともに、事業者の相談体制を構築。相談件数、セミナー・研修等参加者ともに増加しており、今後も社会状況の変化等の動向把握に努め、支援体制の充実を図る必要がある。							

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
d)再生可能エネルギーの導入促進	再生可能エネルギー導入容量(kw)	目標値	45,000	82,000	82,000	82,000	82,000	244,000
		実績値	46,855	79,032	79,251	80,224		
	住宅用太陽光発電システム導入件数(件)	目標値	1,100	1,140	1,180	1,220	1,260	1,300
		実績値	1,132	1,162	1,200	1,236		
	【取組内容と評価】 エネルギービジョンに基づき、多様な再生可能エネルギーの導入促進に向けた地域主体の取り組みを実施。再生可能エネルギーの導入容量は年々増加しているものの、目標値は下回った。住宅用太陽光発電システム導入件数は、目標値を達成した。今後はさらなる導入拡大を図るとともに、エネルギーの地産地消による地域内経済の好循環を目指す必要がある。							

②人材の確保・育成支援

KPI	策定時(H30)	R4実績	進捗度	評価	目標(R6)
一次産業新規就業者(累計)(人)	8	30	42.3%	C	60
	【内訳】	【内訳】			
	(農業) 2	(農業) 6	30.8%		15
	(林業) 1	(林業) 5	28.6%		15
	(水産業) 5	(水産業) 19	56.0%		30
宮古公共職業安定所における就職率(年間)(%)	51.1 2,183/4,275件	45.6 1,867/4,091件	0.0%	D	60.0
就業者数(雇用保険被保険者数)(年間)(人)	18,622	17,376	0.0%	D	18,600

評価: A・・・目標達成 B・・・60%以上100%未満 C・・・60%未満 D・・・0%未満

◎ 関連基本事業の進捗状況

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
a)担い手の確保・育成(農業)	認定農業者数(人)	目標値	65	70	80	85	90	92
		実績値	65	53	57	57		
	新規就農者数:単年(人)	目標値	2	2	3	3	3	3
		実績値	2	1	2	2		
	新規就農者数:累計(人)	目標値	27	29	32	35	38	43
		実績値	27	28	30	32		
	【取組内容と評価】 農業の担い手確保のため、新規就農者に対する助成等の支援を実施。新規就農の相談は年10件程度あるが、実際に就農に結び付くのは数件である。今後は市のHP等による支援制度の情報発信をよりわかりやすいものに改善・強化し、魅力ある職業としての農業を積極的にPRする必要がある。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
b)担い手の確保・育成(林業)	林業新規就業者数(人)	目標値	3	3	3	3	3	3
		実績値	1	1	1	1		
	【取組内容と評価】 林業の担い手確保のため、新規就業者に対する助成等の支援を実施。目標値を達成していないことから、今後は市のHP等による支援制度の情報発信をよりわかりやすいものに改善・強化し、魅力ある職業としての林業を積極的にPRする必要がある。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
c)担い手の確保・育成(水産業)【再掲】	宮古市漁業担い手確保対策事業補助金就漁計画認定者数	目標値	6	6	6	6	6	6
		実績値	2	5	1	3		
	【取組内容と評価】 担い手確保のため、新規就業者への助成等を実施。目標には達していない。市のHP等をより分かりやすいものに改善・強化し、支援制度のPRなどに力を入れる必要がある。							

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
d)経営基盤の強化	経営指導件数(件)	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
		実績値	4,606	4,740	4,418	4,054		
	【取組内容と評価】 事業者の経営の安定・強化のため、商工会議所等の関係機関と連携し、融資制度や経営に対する指導・相談の充実を図る。経営指導の相談件数は目標値を達成した。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
e)雇用の促進【再掲】	補助金・奨励金交付対象者数(人)	目標値	80	80	80	80	80	80
		実績値	66	63	64	68		
	新規卒者等就労奨励金申請件数(件)	目標値	100	100	100	100	100	100
		実績値	86	98	80	88		
	【取組内容と評価】 地元での安定的な就業を促進するため、離職者資格取得支援補助金、トライアル雇用奨励金等の支援策を実施・拡充するほか、新規卒者等就労奨励金により新規高卒者の地元就職やU・Iターン者の増加を図っている。令和4年度はいずれも目標を下回っており、離職者の再就職や常用雇用を継続的に支援するとともに、新規高卒者の地元就職やU・Iターン者の増加に向けた取り組みを推進する必要がある。							
基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
f)労働者の福祉の充実【再掲】	勤労者等対策事業の利用者数(人)	目標値	15	15	15	15	15	15
		実績値	8	4	2	2		
	【取組内容と評価】 労働者の福祉の充実のため、勤労者等対策事業(勤労者生活安全資金、勤労者教育資金、出稼ぎ互助会)を実施。資金需要の減少や、出稼ぎ労働者の減少により、勤労者等対策事業の利用者数が減少した。今後も、当該事業の周知を行うとともに、事業者に対する働き方改革やワークライフバランス推進の働きかけについても、広報等で周知活動を行う必要がある。							

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
b)企業立地の推進【再掲】	工場等の新設・増設等件数(件)	目標値	5	1	1	1	1	5
		実績値	4	0	0	1		
	工場等の新設増設による従業員数(人)	目標値	36	5	5	5	5	25
		実績値	24	0	0	2		
	【取組内容と評価】							
	企業誘致の活動として、新規企業との交渉や、既存誘致企業との意見交換のための企業訪問を実施。令和4年度は全47社(うち新規企業35社)を訪問した。 令和4年度は、平成25年以来10年振りに事業所が新設となり、目標件数を達成。今後も工場等の新設・増設を促進するため、誘致活動を継続して展開していく。							

◎ 関連民間事業に対する評価

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
a)MIYAKO FLAG Market (実施主体:共和水産株式会社/市内農業経営者)	認知数(人)	目標値	—	—	—	—	—	—
		実績値	—	—	5	5		
	【取組内容と評価】							
	生産者と加工会社の連携による朝市やイベント出展。水産、農業等の異業種で連携することにより、食の付加価値を高めることを目標とし、イベント等の出展を行っている。							

基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5	R6
a)岩手実践型インターンシップ(実施主体:NPO法人みやっこベース/NPO法人Wiz)	参加企業(社)	目標値	－	－	－	－	－	－
		実績値	9	9	6	8		
	参加企業の満足度(%)	目標値	－	－	－	－	－	－
		実績値			100	100		
	参加者(人)	目標値	－	－	－	－	－	－
		実績値	15	28	18	16		
	関係人口創出度(%)	目標値	－	－	－	－	－	－
		実績値	－	－	87	81		
	【取組内容と評価】 課題解決に向けた手法などを学ぶ実践型インターンシップ。参加企業は少ないが、企業満足度は高い。また、参加した学生の多くが、インターンシップ終了後も宮古と何らかの関わりを持っているため、関係人口に繋がっている。							
	基本事業	指標名		R元	R2	R3	R4	R5
b)ルーキーズカレッジ(実施主体:宮古市/NPO法人みやっこベース/宮古商工会議所)【再掲】	参加企業(社)	目標値	－	－	－	－	－	－
		実績値	18	15	34	26		
	参加者(人)	目標値	－	－	－	－	－	－
		実績値	24	24	70	69		
	参加者満足度(%)	目標値	－	－	－	－	－	－
		実績値	－	－	94	89		
	【取組内容と評価】 コミュニケーション演習等を題材に、宮古地域の新社会人1～3年目を対象とした合同研修を行っている。令和4年度は企業数は減少したものの、参加者数は前年並みとなっており、宮古管内企業における事業の認知と定着が進んでいる。							